

THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH

鳥取北ロータリークラブ

2020
2021

ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリーのテーマ

● 会長……宮崎 正彦 ● 副会長……松本 啓介 ● 幹事……森下 泰年
● 会計……笹野 眞紀 ● SAA……水野 治郎 ● 活動記録担当リーダー……堀 いづみ



例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■ 創立: 昭和36年2月23日 ■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅前ビル

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/

2021年5月25日(火)

第2904回

◆ 君が代・鳥取北RCの歌 ◆ 創立60周年記念例会
◆ 献立 記念写真
創立60周年記念メニュー

今週の例会

2021年6月1日(火)

第2905回

◆ 君が代・奉仕の理想 ◆ 委員長・担当リーダー退任挨拶
◆ 献立 和食 ※ 例会終了後、定例理事会「例会場」
◆ 委員会事項 誕生日御祝

次週の例会

先週の例会

2021年5月18日(火)

会長挨拶

遂に岡山県、広島県にも緊急事態宣言が発出され、周りの県に囲まれた鳥取県は独自の「新型コロナ感染警戒事態宣言」を発出するに至りました。そうしたことから、本日も食事なしの例会に急遽変更させていただきました。ご理解のほど宜しくお願い致します。一番影響の大きい観光業界にDMOの理事長として関わっていますので、今の状況や思いについて少し話したいと思います。

コロナ禍でオンラインによる業務実施が定着してきたので、これによって業務旅行が縮小し、ビジネスホテルのお客の減少が予想されます。そうすると残るのはレジャー市場ですが、航空企業の大型機削減は世界的な広がりを見せており、今後は航空券単価の高騰が予想されます。コロナ禍でシニア層の旅行意欲が低下していると言われていますが、実はこの数年、シニアは減少傾向で、その原因の一つとしてデジタル化があります。デジタルに弱いタイプの

シニア層の意欲が盛り上がりなくなっているのです。美術館もオンラインで開放し、いつかは本物にという人も少なくないと思います。観光地などの自然は天候の巡りあわせが大きいですが、文化財はリアルな迫力に代替えはききません。インバウンドとアウトバウンドの蒸発、国内旅行も全滅です。観光は平和で安全な世界でのみ行われるという言葉通りの光景になっているとつくづく思います。不要不急行動の一つとされた観光業ですが、不急ではあっても、人生において不要ではないと信じているので、これからも挽回のために励みたいと思います。

最後にいつもの辛口発言です。メディアはコロナ感染者、重症者、死者数ばかりカウントするのではなく、コロナが主因と考えられる倒産・廃業数、解雇・失業数、自殺者数を都道府県別に毎日カウントして、国民の「命と暮らし」の両方を守るために、公平に被害の大きさと対策を論じるべきだと思います。

幹事報告

1. 到着文書
 - ・ 国際ロータリーより、第4期ハイライト
 - ・ 菊池ガバナー事務所より、6/6ガバナー補佐会中止のお知らせ
 - ・ ザ・ロータリアン誌5月号
2. 例会変更・メーカーシップ情報
特になし
3. その他連絡事項
 - ・ 次週5/25は「創立60周年記念例会」です。12時20分から食事開始、60周年バッジ・ネクタイ着用下さい。

このあと実行委員会より報告があります。

- ・ 6/8「物故法要例会」12:30～、コロナ対策のため持ち帰り弁当を用意します。
- ・ 6/22「職場訪問」例会終了後、水野商事様の新工場見学です。
- ・ ホテルモナーク鳥取のご配慮で、食事券の有効期限が6月末まで延長となります。
- ・ IDMに参加した方は、メーカーシップになりますのでメーカーシップ用紙にご記入ください。(各委員長に配布してあります)

60周年植田実行副委員長より報告

次週は創立60周年記念例会です。12時20分から食事開始、12時40分から例会を開始いたします。最後に集合記念写真を例会場で撮ります。

また、例会には60周年バッジとネクタイ着用をご参加ください。

委員会事項

◎出席率報告

5月18日	会員43名	欠席10名	76.7%
4月27日	補正後	欠席12名	72.0%

◎入会記念日御祝

松本啓介さん(8年)

メイクアップ

5/16 地区次期R財団・会員増強セミナー

松本啓介さん 水野治郎さん

田中和夫さん 森下泰年さん

*スマイル報告(本日8,000円 累計453,370円)

宮崎正彦さん 昨日、鳥取労働局長と鳥取県の平井知事に対して、鳥取県経営者協会と連合鳥取が労使協定で「コロナ禍における労働対策に関する要請」を行い、NHKニュースで放映されました。

松本啓介さん 5月16日の日曜日に次年度に向けた地区の会員増強などに関するセミナーを受けてきました。参加された水野さん、田中和夫さん、森下さん、お疲れ様でした。講師を務めた3クラブの会員からクラブの良いところや悩みを聞き、コロナ禍の中ですが、次年度の活動に生かしたいと思いました。

森下泰年さん 石田雲鶴様、本日はコロナ禍の中ありがとうございます。素晴らしい書の世界のお話を楽しみにしております。

前田清吉さん 石田雲鶴先生、本日はよろしくお願ひします。

入江容子さん 石田先生、本日の書道のお話楽しみにしています。

水野治郎さん この5月で代表取締役就任まる5年となりました。デビューの遅れを取り戻すべく、2倍速で何事にも取り組んでできました。引き続きワクチンを接種し頑張ります。

*2大御祝(本日2,000円 累計140,000円)

松本啓介さん 入会記念日

卓話

鳥取由源友の会 代表 石田雲鶴 氏

私の年齢を申し上げますと四捨五入すると90歳にもなりますが、実際は85歳です。

私は恥をかくのが好きなんです、字を書くのはもっと大好きなんです。今日は書道についてと、鳥取書道女流選抜展を作った経緯についてお話をさせていただきます。我々書道をするものは資格とか大きな展覧会で賞を貰ったりする為には2尺・8尺とか大きな作品で審査を受けます。しかしな

がら、大きな作品を作ることに抵抗を感じていた私は、女性だけで作品を家に持って帰れる文化を生みたくて小さい作品を造る会を立ち上げて15・16年になります。このことが鳥取書道女流選抜展の始まりです。一番難しい作品造りはハガキです。小さいから直ぐに書けると思ったら大間違いです。小っちゃいスペースに上手く収めようとするのが難しいんです。絵になる字を選び、その活字に様々な表情を付けます。一つの字でも幾つもの表情を持った字が書けます。作品を出品する時は何枚も何枚も書いて一つを選ぶんです。紙をとて無駄使いしてると思われるのですが、私たちはそう思っていないのです。ひたすら繰り返し書くことによって手が覚えてくるんです。見るだけでは駄目なんです。手が覚えないと。

その昔、近所のおばあちゃん達に何枚も何枚も紙を無駄使いしていたため極道者と思われていましたが、「道楽」とは道を楽しむ、「極道」とは道楽を極めるのです。中学生の時の先生に言われました。「書は人なり」で、書は人を表すのです。書の一画一画に人生が出ます。「書家」は物を造ります。「書道家」は書の道を教えます。書は人を表しますので作品に出てきます。だからいい加減な字は書けない。芸術は積み重ねです。真剣に書かないといけない。偉そうに言っていますが、私は未熟です。死ぬまで未熟です。だから、書きます。人の道を教えてあげるのも書道家の使命です。

また、現代の家には床の間がなく軸を掛けるところがないです。昔はお客様をお迎えする一番の部屋だったのですが…。加えて、額も掛けるところがないです。だから、自分で作ったものを自分で掲げようというのが女流展の始まりでもありました。



(担当 足立日出男)